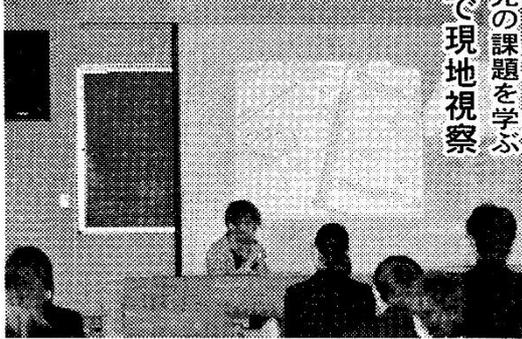


地域の魅力を知り、農業と観光の課題を学ぶ  
美瑛高校1年地域探求で現地視察

高校生の視点で、町の観光の在り方や地域の活性化を考察。美瑛高校1年生の総合的な探求の時間のプログラム「地域探求」が5月24日に実施。様々な観点から地域を知り理解を深めることを目的としたもので、町内在住のプロ写真家の中西敏貴氏と、大西農園の大西智貴氏が講師として協力。地域の魅力や農業と観光の課題などを伝えた。

講義では、視聴覚室で中西氏が「世界に誇れる美瑛の魅力」と題し、撮影した写真を通して美瑛町の魅力を伝達。生徒たちに新しい気付きを与えた。今回は、実際に白金の「青い池」や北瑛の「大西農園」に足を運ぶ現



地視察も採り入れられており、各講師が現場で説明。まず「青い池」で中西氏による成り立ちからの解説に耳を傾け、観光地としての価



「大西農園」で講義する中西敏貴氏(左)と大西智貴氏(右)

値について考察した。続いて「大西農園」に移動。町の農業と観光の共存に向け、農業者たちが自ら情報を発信する「ブラウマンの空庭」プロジェクトの説明を受け、美しい景観を作り守り続ける農業者の思いと、観光マナーの問題にもふれ、農業と観光の在り方について生徒同士でも協議。より身近な形で地域への理解を深めた。美瑛高校では、「今後も生徒たちの資質・能力の育成のため、関係機関と連携・協働した取り組みを行っていく」として生徒たちが自ら学ぶ力をサポートしている。

※内容・写真は美瑛高校提供